

2002年11月22日

奈良研究開発センター拡張工事の完了について

参天製薬株式会社（社長：森田隆和）では、2001年10月から奈良県生駒市にある「奈良研究開発センター」の拡張工事を行ってまいりましたが、この度工事完了に伴い、11月25日（月）に竣工式を行う運びとなりましたので、お知らせします。

奈良研究開発センターは、眼科医療に寄与する新製品の探索研究および開発研究のための施設として1996年4月に設立されました。

今回の拡張により、眼科研究の一層の強化・充実を図るとともに、大阪市東淀川区（本社所在地）にある中央研究所から抗リウマチ薬の研究および合成、安全性研究、研究サポートなどの機能を移転し、眼科とリウマチの研究機能を統合します。これに伴い、同センターの所員数は従来の2倍強の約220人となります。

参天製薬は、眼科とリウマチに特化した独自性ある医薬品企業として、人々の目とからだの健康維持・増進に貢献しています。売上高の約80%を占める医療用眼科薬では、あらゆる眼科疾患に対する優れた医薬品の創製と医療現場のニーズに即した情報提供に取り組み、国内No.1の地位を獲得しています。

奈良研究開発センターの概要

所在地： 奈良県生駒市高山町8916番16
（関西文化学術研究都市 高山地区）

敷地面積： 36,000平方メートル

延床面積： 北棟（今回増設部分）： 約10,000平方メートル（地上5階、地下1階）
全体： 約20,000平方メートル

設計・施工： 日揮（株）
（株）プランテック総合計画事務所

以上

■参天製薬株式会社 奈良研究開発センター

(左奥が今回増設された「北棟」です)



上記写真の画像ファイル（JPG）は、参天製薬のホームページからダウンロードすることができます。
(アドレス <http://www.santen.co.jp/ir/jp/news/picture/20021122.jpg>)